繊維

機械

食料

合 計

情報通信·航空電子

金属・エネルギー

生活資材 · 化学品

金融 · 不動産 · 保険 · 物流

その他及び修正消去

456

240

576

518

1 713

114

4,400

469

453

611

1,115

650

1.698

225

200

5,421

Δ 13

△ 214

△ 539

Δ 131

+ 14

△ 86

△1,021

Δ 58

## 2009年度第1~2四半期累計決算の概要

持分法投資損益の増加はあったものの、営業利益の減少に加え、前年同期の投

営業利益は前年同期の貸倒引当金計上の反動があったものの、売上総利益の減少により減

√-アイ化成㈱の支配獲得に伴うネット利益の計上及び固定資産損益の好転があっ

| |株||アイ・ロンスティクスの支配獲得に伴うネット利益の計上等があったものの、営業利益

営業利益の悪化に加え、持分法投資損益の悪化、社内税金制度変更に伴う税金

営業利益については、「平成22年3月期 第2四半期決算」P. 16-17をご参照くだ

営業利益の大幅減少に加え、持分法投資損益の減少等により減益

こものの、営業利益の減少及び持分法投資損益の悪化により減益

営業利益の増益に加え、投資有価証券損益等の好転により大幅増益

営業利益の増加があったものの、投資有価証券売却益の減少等により減益

資有価証券売却益の反動により減益

及び持分法投資損益の悪化により減益

負担増もあり減益

(前年度末比増減額)

(Δ 811) (Δ

当第2四半期累計の「当社株主帰属四半期純利益」は、前年同期比838億円減益の553億円となり、通期見通し1,300億円に対しては43%の進捗となった。 553億円の内訳は、第1四半期204億円、第2四半期349億円となっており、第2四半期は第1四半期と比較して145億円の好転と回復基調にある。

セグメント別では、食料、機械が前年同期比で増益となった他は、金属・エネルギーの大幅悪化を筆頭に、繊維、情報通信・航空電子、生活資材・化学品、金融・不動産・ 保険・物流が減益(「オペレーティングセグメント情報」参照)となった。

セグメント別についても当第2四半期と当第1四半期を比較すると、各セグメントとも順調に回復している(別紙B「2009年度第2四半期 連結決算ハイライト (米国会計基 準)」の「オペレーティングセグメント情報」の「2009年度第1四半期比」の欄を参照)。当第2四半期の当第1四半期比増減額は、繊維+54億円、機械+48億円、情報通信・ 航空電子+23億円、金属・エネルギー+149億円、生活資材・化学品+37億円、食料△74億円、金融・不動産・保険・物流△17億円。

- ・分野別の「当社株主帰属四半期純利益」の比率は、資源エネルギー関連47%、生活消費関連47%、その他6%となっている。
- ・株主資本は、為替換算調整額の改善、並びに前年度末比で株価が回復したことに伴う未実現有価証券損益の改善により、1.578億円増加の1兆72億円となった。
- 株主資本比率は2.1ポイント上昇し、18.4%。NET DERは0.2ポイント改善し、1.8倍。

経営成績	2000 十		前	前年同期比		主たる増減要因		今回通期見通し		前回通期見通し	
社 当 以 積	1-2Q累計	1-2Q累計 増減額 増減率(%		6)	土たる垣拠安囚	フ凹通州兄通し		(4月30日公表時)			
								進捗率(%)		増減額	
収 益	16,511	14,967	+ 1,5	43 +10.3%	6	・ <u>収益</u> :自動車市場低迷、日米住宅市況低迷に加え、金属					
売上総利益	4,400	5,421	Δ 1,0	21 △ 18.8%	6	資源・エネルキー価格下落の影響等があったものの、伊藤忠	9,500	46.3%	9,750	△ 250	
その他の収益(△費用)						エネクス㈱等の新規連結子会社の影響等により増収					
販売費及び一般管理費	△3,820	△3,654	Δ 1	65 + 4.5%	6	· <u>売上総利益</u> :(増減分野及び商品等)	△7,900	48.4%	△7,850	△ 50	
貸倒引当金繰入額	△ 43	△ 124	+	80 △ 64.9%	6	繊維/減益:(株)三景連結子会社化による増加はあったもの	Δ 100	43.4%	△ 50	△ 50	
金利収支	△ 132	△ 145	+	13 🛆 9.1%	6	の、繊維原料、織物、衣料品等の市況低迷により減益	△ 270	48.8%	△ 350	+ 80	
受取配当金	104	178	Δ	75 △41.9%	6	機械/減益:自動車、建機取引不調、船舶取引は前年の反動	270	38.3%	250	+ 20	
(金融収支)	(A 28)	( 33)	(Δ	62) ( —	-)	情航/横ばい:国内携帯電話販売事業が増益の一方で、	( 0)	_	(A 100)	+ 100	
投資及び有価証券に係る損益	52	50	+	2 –	-	航空機関連事業、情報通信関連事業が全般的不調					
固定資産に係る損益 3	20	Δ 8	+	28 —	-	金エネ/減益:伊藤忠エネクス㈱連結子会社化による増加、	3 250	_	3 0	+ 250	
子会社取得におけるバーゲン パーチェス取引に係る利益	91	_	+	91 —	-	金属資源・エネルキー価格下落、鉄鉱石販売数量減少					
その他の損益	26	△ 25	+	51 —	-	生化/減益:シーアイ化成㈱連結子会社化、昨秋以降の化学品					
その他の収益(△費用)計	△3,704	△3,728	+	25 🛆 0.7%	6	価格下落、日米住宅市況低迷、米国子会社売却による影響	△7,750	47.8%	△8,000	+ 250	
税引前利益	696	1,693	Δ 9	96 △58.9%	6	食料/増益:食品流通での取扱増加、生鮮食材の採算向上	1,750	39.8%	1,750	_	
法人税等	Δ 312	△ 615	+ 3	03 △49.2%	6	金不保物/減益:㈱アイ・ロジスティクス連結子会社化による増	△ 770	40.5%	△ 850	+ 80	
税引後利益	384	1,078	Δ 6	94 △64.3%	%	加、マンション分譲事業並びに金融関連事業での減収	980	39.2%	900	+ 80	
持分法による投資損益	208	349	Δ 1	41 △40.5%	6	・ <u>販売費及び一般管理費</u> :	470	44.2%	560	△ 90	
四半期純利益	592	1,427	Δ 8	35 △58.5%	6	伊藤忠エネクス㈱等の連結子会社化による増加に加え、前	1,450	40.8%	1,460	Δ 10	
非支配持分帰属四半期純利益	△ 39	Δ 36	Δ	3 + 7.7%	6	年度の年金資産運用悪化に伴う退職給付費用の増加等	△ 150	25.9%	Δ 160	+ 10	
当社株主帰属四半期純利益	553	1,391	Δ 8	38 △ 60.2%	%	· <u>貸倒引当金繰入額</u> :	1,300	42.6%	1,300	_	
(参考)						前年同期のモンゴル向け債権に係る貸倒引当金計上の反動					
売上高 ①	48,020	64,312	△ 16,2	92 🛆 25.3%	6	・金融収支: 米ドル金利低下による好転、LNG関連受取配当	105,000	45.7%	105,000	_	
(売上総利益率)	( 9.2%)	( 8.4%)	(+ 0	.7%)		・投資及び有価証券に係る損益・金減少	( 9.0%)		( 9.3%)		
営業利益 ②	537	1,643	Δ 1,1	06 △67.3%	6	支配獲得に伴う既保有株式再評価損△35、 株式評価損減少+44、株式売却損益悪化△30、	1,500	35.8%	1,850	△ 350	
						事業整理損減少他+23			-		
実態利益 ④	760	2,149	Δ 1,3	89 △64.7%	%	・ <b>固定資産に係る損益</b> : 固定資産売却損益好転+20、	2,070	36.7%	2,360	△ 290	
実態利益=売上総利益+販売費	及び一般管理	費+金融収え	支+持分;		益	· <u>^ - ケンパーチェス取引に係る利益</u> : その他の好転+8					
<u>当社株主帰属四半期純利</u>	益•実態利	益推移	ſ	<ul><li>■:実態利益</li><li>□:当社株主</li></ul>		シーアイ化成㈱、㈱アイ・ロジスティクスの支配獲得に伴う利益+91	配当	状況	配当		
		2,149		帰属四半 期純利益		・ <b>その他の損益</b> : 為替損益好転+32、その他の好転+19	(1株主	当たり)	(1株当	áたり)	
2,000	1,810	1.391		- 州祀 和金		・持分法による投資損益:		-		•	
1,155 961	1,164	1,391	76	n		東京センチュリーリース㈱[事業再編に係る利益+11等](注1)、	年間	15円	年間	15円	
1,000 612		- 1	553			頂新(ケイマン)ホールテ・ィング・+11、日伯鉄鉱石㈱+10、	(予想)	1011	(予想)	1013	
0						伊藤忠丸紅鉄鋼㈱△110、IMEAの持分法投資損益△43、	中間	7.5円	中間	7.5円	
05/1-2Q 06/1-2Q	07/1-2Q	08/1-2Q	09/1-2	Q		(株)オリエントコーポレーション△33、日伯紙パルプ資源開発株)△23等	i iei	7.01 3	1 1143	7.011	
						(注1)当社の公表日以降に業績の公表を個別に行うため、これ」	以外の取込損	益の記載を	控えておりま	す。	
売上総利益(注2) 当社林					往	は株主帰属四半期純利益 「おおおま」 「おおおまま」 「おおおままま」 「おおままままま」					

受取配当金	104	178	△ 75	△41.9%	機械/減益:自動車、建機取引不	調、船舶取引は前年の反動	270	38.3%	250	+ 20
(金融収支)	(A 28)	( 33)	(A 62)	( -)	情航/横ばい:国内携帯電話販	売事業が増益の一方で、	( 0)	_	(A 100)	+ 100
投資及び有価証券に係る損益	52	50	+ 2	_	航空機関連事業、情報通信	関連事業が全般的不調				
固定資産に係る損益 3	20	Δ 8	+ 28	_	金エネ/減益:伊藤忠エネクス(株)連絡	店子会社化による増加、	3 250	_	3 0	+ 250
子会社取得におけるバーゲン パーチェス取引に係る利益	91	_	+ 91	_	金属資源・エネルキ・一価格下落	、鉄鉱石販売数量減少				
その他の損益	26	△ 25	+ 51	_	生化/減益:シーアイ化成㈱連結子:	会社化、昨秋以降の化学品				
その他の収益(△費用)計	△3,704	△3,728	+ 25	△ 0.7%	価格下落、日米住宅市況低迷、米	ド国子会社売却による影響	△7,750	47.8%	△8,000	+ 250
税引前利益	696	1,693	Δ 996	△ 58.9%	食料/増益:食品流通での取扱増	曽加、生鮮食材の採算向上	1,750	39.8%	1,750	-
法人税等	△ 312	△ 615	+ 303	△49.2%	金不保物/減益:(株)アイ・ロジスティク	ス連結子会社化による増	△ 770	40.5%	△ 850	+ 80
税引後利益	384	1,078	Δ 694	△ 64.3%	加、マンション分譲事業並びに会	金融関連事業での減収	980	39.2%	900	+ 80
持分法による投資損益	208	349	Δ 141	△40.5%	· <u>販売費及び一般管理費</u> :		470	44.2%	560	△ 90
四半期純利益	592	1,427	△ 835	△ 58.5%	伊藤忠エネクス(株)等の連結子会社		1,450	40.8%	1,460	Δ 10
非支配持分帰属四半期純利益	△ 39	Δ 36	Δ 3	+ 7.7%	年度の年金資産運用悪化に伴	う退職給付費用の増加等	△ 150	25.9%	Δ 160	+ 10
当社株主帰属四半期純利益	553	1,391	Δ 838	△ 60.2%	· <u>貸倒引当金繰入額</u> :		1,300	42.6%	1,300	_
(参考)	_				前年同期のモンコル向け債権に係					
売上高 ①	48,020	64,312	△ 16,292	△ 25.3%	・ 金融収支: 米ドル金利低下による	A >= .1.	105,000	45.7%	105,000	_
(売上総利益率)	( 9.2%)	( 8.4%)	(+ 0.7%)		<ul> <li>投資及び有価証券に係る損 支配獲得に伴う既保有株式再認</li> </ul>		( 9.0%)		( 9.3%)	
営業利益 ②	537	1,643	Δ 1,106	△67.3%	大配獲侍に任づ成保有休式冉記 株式評価損減少+44、株式売却		1,500	35.8%	1,850	△ 350
	_				事業整理損減少他+23		_			
実態利益 ④	760	2,149	Δ 1,389	△64.7%	・ <b>固定資産に係る損益</b> :固定資		2,070	36.7%	2,360	△ 290
実態利益=売上総利益+販売費	及び一般管理	里費+金融収			・ <u>バーゲンパーチェス取引に係る</u> 和	<u>  益</u> : その他の好転+8				
<u>当社株主帰属四半期純利</u>	益・実態利	益推移		実態利益 当社株主	シーアイ化成(株)、(株)アイ・ロジスティクスの	支配獲得に伴う利益+91	配当		配当	
		2.149	<u> </u>	帰属四半 期純利益	・ <b>その他の損益</b> :為替損益好転	+32、その他の好転+19	(1株当	当たり)	(1株当	áたり)
2,000	1,810	1.391		7914-C-1-3 IIII.	· <u>持分法による投資損益</u> :					
1,155 961	1,164	1,001	760		東京センチュリーリース㈱〔事業再編Ⅰ	に係る利益+11等](注1)、	年間	15円	年間	15円
1,000			553		頂新 (ケイマン) ホールディング + 11、		(予想)		(予想)	
0					伊藤忠丸紅鉄鋼㈱△110、IMEA		中間	7.5円	中間	7.5円
05/1-2Q 06/1-2Q	07/1-2Q	08/1-2Q	09/1-2Q		(株)オリエントコーポレーション△33、日伯	紙パルプ資源開発㈱△23等				
					(注1)当社の公表日以降に業績の	公表を個別に行うため、これり	l外の取込損	益の記載を持	空えておりま <sup>-</sup>	す。
	売_	上総利益(注	<b>È</b> 2)	当社	±株主帰属四半期純利益	【当社株主帰属四	四半期純素	Ⅱ益】 主力	- る増減す	因
オペレーティング			<del>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </del>							<u> </u>
セグメント情報	2009年度	2008年度	前年	2009年度	2008年度 前年 見通し	(注2)売上約	§利益につい 主たる増減関			
	1-2Q累計	1-2Q累計	同期比	1-2Q累計	1-2Q累計 同期比 達成率			, — , » , »		

132 △ 61

Δ

132 △ 51

124 + 61

1,391 🛆 838

△ 603

△ 43

△ 138

37

19

864

66

17

40

261

185

23

\ 121

553

34%

45%

11%

43%

74%

50%

43%

		1	1	VIII > III = VIII (VIII > O VIII = VIII + O VII
当社株主帰属四半期純 利益の会社区分別内訳	2009年度 1-2Q累計	2008年度 1-2Q累計	前年同期比	<u>当社株主帰属四半期純利益の会社区分別内訳推移</u>
利益の芸社区方別内部	1 2以来前	1 20余司	1	1,074 □ : 事業会社 □ : 海外現法 □ : 海外現法 □ : 海外現法 □ : 海外現法 □ :
<u> </u>		<del> </del>	Τ	
単 体	215	620	Δ 404	295
事業会社	477	1,074	△ 597	112 125 213 44
海 外 現 地 法 人	44	125	Δ 81	△ 38 △ △ 61
連結修正	Δ 183	△ 427	+ 245	$\triangle$ 173 $\triangle$ 221 $\triangle$ 427 $\triangle$ 183
当社株主帰属四半期純利益	553	1,391	Δ 838	05/1-2Q 06/1-2Q 07/1-2Q 08/1-2Q 09/1-2Q
		<u>=</u>		
内、海外事業損益(注3)	240	818	Δ 578	(注3) 海外事業損益は、海外現地法人及び海外事業会社の損益合計に、親会社の海外支店及び実質海外
(海外事業損益比率)	( 43%)	( 59%)		の国内事業会社(収益源の大半が海外に帰属する日本に設立された特定の会社)の損益を加えたものです。
		2	•	
黒字会社率	2009年度	2008年度	*~=#11	<b>東 # △ + / / 75 * 7 * 14 * + * </b> 2009年度 2008年度
(事業会社+海外現地法人)	1-2Q累計	1-2Q累計	前年同期比	<b>事業会社(取込損益)</b>
(注4) 当第1四半期より、当社が直接		■	現地法人が	
直接投資している会社を表示		レスひヨ社の海外	玩吧从八5	(主な黒字会社) (連):連結子会社(持):持分法適用関連会社
黒字会社率	66.2%	74.1%	△ 7.9%	
(黒字会社数)	( 280社)	( 312社)		ITOCHU Minerals & Energy of Australia Pty Ltd (IMEA) (連)
(赤字会社数)	( 143社)	( 312社)	1	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				┃ ITOCHU Oil Exploration (連) ┃ 14 ┃ 117 ┃ 油価下落、引取数量減少、円 (Azerbaijan) Inc.
(合計)	( 423社)	( 421社)	(十 2社)	J   v ======
	-			1 (株ファミリーマート (持) 31 35 97ポーカ果の剥落及び天候不順
黒字•赤字会社損益	2009年度	2008年度	前年同期比	「株分)とり一く一下 (持分)   等による販売減により減益
(事業会社+海外現地法人)	1-2Q累計	1-2Q累計		PrimeSource Building (連)   15 39   北米住宅市況低迷により減益
				Products, Inc.
黒字会社利益	687	1,339	Δ 652	(主な赤字会社)
赤字会社損失	Δ 166	Δ 140	Δ 26	(日本の土 476年9月141) (AUGI) (44) A 101 国内外の鉄鋼製品の需要減少
合 計	521	1,199	Δ 678	伊藤忠丸紅鉄鋼㈱(MISI) (持) Δ 9 101 日日 日内 101 日日 101 日 101 日日 101
		.,		□ (4-647 - 8-11 = 3.26 YE PB 36-644) (4-1)
(内、事業会社)				日伯紙パルプ資源開発㈱     (持)     Δ     14     9     A     A     A
黒字会社利益	640	1,213	△ 573	
赤字会社損失	Δ 163	Δ 138	Δ 25	
合 計	477	1.074	△ 597	】 │
ППП	4//	1,074	∆ 597	】
				643 491 687 521
(内、海外現地法人)			T	1
黒字会社利益	47	126	Δ 79	
赤字会社損失	Δ 3	Δ 1	Δ 2	$\triangle$ 152 $\triangle$ 76 $\triangle$ 169 $\triangle$ 140 $\triangle$ 166
合 計	44	125	Δ 81	05/1-2Q 06/1-2Q 07/1-2Q 08/1-2Q 09/1-2Q
		1	1	
財政状態	2009年	2009年	前年度末比	<u>2010年3月末見通し</u>   主たる増減要因
971 AD 101 163	9月末	3月末	的一及水起	今回 前回
総資産	54,617	51,921	+ 2,696	<b>総資産</b> : 現預金の減少、生活資材・化学品、金融・不動産・保険・物流における 新規連結子会社の影響、金属・エネルキーにおける油価上昇に伴う営業債権、 55,000 55,000
有利子負債	23,885	23,893	Δ 9	たな卸資産の増加、設備投資等による有形固定資産の増加、豪ドル高、レア 24,000 24,000
NET 有利子負債	18,367	17,568	+ 800	ル高による増加、繊維、食料における新規投資等があり、前年度末比増加 株主資本: 配当金の支払いによる減少、当社株主帰属四半期純利益(累計) 19,000 19,000
株主資本(当社株主帰属分)	10,072	8,494	+ 1,578	の積上げ、為替換算調整額の改善、株式市況回復による未実現有価証券 10.000 9.500
NET DER (倍)	1.8倍	2.1倍	0.2 改善	損益の改善等により、前年度末比増加
MET BEN (III)	1.010			TO DESIGNATE TO A POSSIBLE CONTRACTOR OF THE CON
	2000年度	2000年度	I	
キャッシュ・フロー	2009年度 1-2Q累計	2008年度 1-2Q累計	前年同期比	2009年度第1~2四半期累計のキャッシュ・フローの状況
	. ८५ तथा	1 24末日	<u> </u>	] [
24 W T T I I - 1 7			T	黄金年動のこ
営業活動によるCF	1,027	623	+ 404	<b>営業活動CF</b> :   情報通信・航空電子及び繊維等において、営業債権の回収が進んだこと等により、ネット入金
投資活動によるCF	Δ 1,346		Δ 199	投資活動CF:
財務活動によるCF	△ 560	140	Δ 701	生活消費関連への新規投資、シーアイ化成㈱及び㈱アイ・ロンスティクスの連結子会社化に係る追加投資等によ
現金·現金同等物期末残高	E 477	2.004	1	り、ネット支払
/並左左十八八十十二八十十二八十十二八十二十二八十二十二八十二十二八十二十二十二十二	5,477	3,994	4	財務活動CF:

主要指標		2009年度 1-2Q累計	2008年度 1-2Q累計	変動幅	主要指標		2009年度 1-2Q累計	2008年度 1-2Q累計	変動幅	
3月決算会社 為替レート (¥/US\$) 12月決算会社	2日边笆合计	4-9月平均	-9月平均 96.34 105.11 △ 8.77 金利 (円TIBOR 3M/4-9月平均)		0.574%	0.848%	△ 0.274%			
	9月次异云社	期末日	09/9 90.21	09/3 98.23	Δ 8.02	金利 (US\$LIBOR 3M/1-6月平均)		1.044%	3.018%	△ 1.974%
	10日法哲令社	1-6月平均	94.22	105.69	Δ 11.47	ブレント原油 (US\$/BBL)	4-9月平均	64.37	119.91	△ 55.54
	12万次并云红	期末日	09/6 96.01	08/12 91.03	+ 4.98		1-6月平均	52.71	109.72	Δ 57.01

配当金の支払い及び親会社にて借入金を返済したこと等により、ネット支払(返済)